

第一回関東小学生作文コンクール「海外に紹介したい日本のこと」
〈佳作〉

超高速鉄道

筑波大付属小学校 五年 青山裕太郎

日本の時速581キロを記録したりニアモーターカーを知っていますか？

リニアモーターカーは車両に搭載した超電導磁石と地上コイルの間の磁力によって車両を約一〇センチメートル浮かせて超高速で走行する未来型鉄道です。日本のリニアモーターカーはリニア中央新幹線といわれており、名のおり駅は山梨県や長野県ぎ阜県などの内陸県を通っています。

まだ最終ルートは確定しておらず、3つのルートこうほがあります。3つのルートは甲府市辺りでA・B・Cのルートに分かれています。Aルートは木曾谷を通る大回りルートでBルートはCルートの迂回ルート、Cルートは山の中を通り抜けるルートです。

Aルートは路線長、所要時間、工事費、運営費、更新費ともに、平均的なルートです。一方でBルートは、費用、所要時間がかかり、路長も長いルートです。

ですが、Cルートは、費用は安く、時間もかからず、路線もほぼ一直線で短いルートです。

ぼくは、便利で、運ちゃんも安くなりそうなのでCルートがいいと思います。

リニアの歴史は意外と深く、1962年にリニアの開発が始まり、1972年には、鉄道技術研究所内で浮上走行に成功しました。1977年には、宮崎県にリニアの実験センターができ、「ML-500」が時速517キロを無人走行で記録しました。さらに1987年には人を乗せての実験に成功しました。ですが宮崎実験線は、単線で、トンネルや勾配、曲線がなかったために、山梨県に実験線を

建設しました。山梨実験センターでも、1997年には浮上走行が成功し、有人走行で時速500キロを記録しました。そして、2003年には世界最高位記録を30キロ上回る時速581キロを記録し、ギネス世界記録にのっていされました。さらに新しい「MLX01-901A」による走行試験を研究中です。

2027年に東京く名古屋間が完成予定ですが、もつとはやく作ってほしいです。そして、しょうらい全てリニアが通るような世界になつたらいいと思います。

ぼくが生まれるよりも昔から、リニアの研究をやっていたことがすごいです。

日本人は、研究熱心で器用といわれておりいろいろなものを開発してきました。ハイブリッドカー、かん電池、光ファイバー、インスタントラーメン、シャープペンシル、カッターナイフ、ソーラーシステムそして、リニアモーターカーです。リニアモーターカーが完成したら、これまでのいろいろなものと同じように、このすごい技術が海外に伝わっていくでしょう。